

特別号



たがら



令和 7 年 3 月
練馬区立田柄小学校
校長 伊藤 雄一

令和6年度 練馬区立田柄小学校 教育活動におけるアンケート結果から

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。11・12月には「令和6年度 田柄小学校教育活動におけるアンケート」のご回答にご協力いただき、ありがとうございます。結果をまとめましたので、お知らせいたします。また、2月20日(火)には学校評議員会を行い、評議員の皆様から、より広い視点でのご意見もいただきました。これらを次年度の学校教育の改善の貴重な資料とさせていただきます。

◆アンケートのねらい

アンケートは以下のようなねらいで行っています。

1 学校についての多面的な評価を知る

学校がひとりよがりにならないように、保護者や地域の皆様からのご意見をいただきました。

2 すぐ対応できる改善に生かす

学校内部だけで気付かなかったり、行き届かなかったりした事のご指摘を受け、改善のめやすとしました。

3 次年度の計画に生かす

学校評議員会や来年度の教育の計画を立てるための校内での検討に生かしました。

4 教員の授業や意識の改善に生かす

時には厳しいご意見もありますが、教職員が自らの日々の実践を振り返り、改善していくきっかけにしています。

5 いろいろな意見の相互交流の場として生かす

多様なご意見を集計し公表することで、互いの視野を広めたり考えを深めたりするきっかけとしています。

◆アンケート実施方法の工夫と回答の状況

昨年度から「保護者アンケートについて回答の基準がわからない。アンケートがどのような目的、主旨等がわからなければ、大体の感じで回答する方も増え、求めるゴールにたどり着くか不安」との保護者の方のご意見を踏まえ、『田柄小学校の教育活動におけるアンケート』回答に関する補助資料」をアンケートと一緒に保護者の皆様に配布し、回答をする際の参考にしていただきました。また、児童向けにも「児童用記入の手引き」を作成し、どの学年でも回答をしやすく配慮しています。昨年度までに続いて、回答は Google フォームを活用して実施しました。保護者の方の回答率は上がり、児童数に対して約8割(78.8%)の方に回答していただきました。

◆アンケート結果の概要

1 児童対象のアンケートについて

設問⑤「学校に楽しく通っている」と回答した児童が90%を超えました。その他の設問も概ね85%を超えており、多くの児童が充実した学校生活を過ごしているということが窺えます。その一方で、設問⑩「学校で困ったことがあったとき、担任や専科の先生、相談室の先生に相談することができる」と答えた児童は73.2%にとどまりました。悩みや不安を抱えた児童が相談しやすい(話しやすい)環境・雰囲気を整え、安心して学校に通えるように、今後も児童一人ひとりに寄り添っていきます。

また、児童が主体的に学習に取り組めるような授業の工夫(設問①)、児童が読書に親しめるような環境の整備や時間の設定(設問③)、異学年交流の充実や意義の理解(設問⑨)等について、来年度も課題として取り組んでいきます。

2 保護者対象のアンケートについて

多くの設問で、90%を超える肯定的な評価をいただくことができました。今後も児童が充実した学校生活を過ごし、様々な力を身に付けていけるように、必要な指導・支援を継続すると同時に、見直し・改善していきます。一方で、充分でないという回答がそれぞれ10ポイント程度あるのは、多いに改善や工夫の余地があります。アンケート結果を踏まえて、粘り強く教育活動をすすめていきます。

「あいさつ」については(設問⑥)、昨年度と同様保護者・児童・教員で認識に大きな差があります。児童は「あいさつしている」つもりでも、大人から見ると、「できていない」と感じてしまう場面があります。あいさつをする意味を、丁寧に指導したり、学級で話し合ったりすることや、各学級や学年の実態を踏まえた年間通した取組を通して身に付けさせていきます。子供たち自身も、あいさつができる学校と感じている子も多く、良い雰囲気を繋いでいきたいと考えています。

保護者の皆様も不安や疑問などを相談しやすいように努めてきましたが、相談のできる時間の確保や、相談の仕方の周知を工夫し、安心して児童を学校に通わせられるようにしていきます(設問⑩)。

令和6年度アンケート項目・設問(アンケート回答率 保78.8.% 児93.9% 教100%) ※令和5年度回答率 保73.0.% 児96.8% 教100% ※保護者回答率は児童数に対しての数				R6	R5
確かな学力の定着と向上および 健全な体を育成する教育	①	保	学校は、わかる授業、身に付く授業、表現する授業に努めている。	94.2	91.9
		児	自分からすすんで学習することができる。	85.5	88.5
		教	教師は、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりに努めている。	91.3	92.0
	②	保	お子さんは、授業の内容を理解している。	89.8	90.9
		児	学習内容がわかっている。	92.4	93.9
		教	児童は、授業の内容を理解している。	95.6	95.6
	③	保	学校は、「読書旬間」や学校図書館の環境整備等を通して、読書や活字に親しむ子供の育成に努めている。	94.2	92.0
		児	読書旬間や図書の時間などに、すすんで本を読もうとしている。	80.8	77.8
		教	学校は、「読書旬間」や学校図書館の環境整備等を通して、読書や活字に親しむ子供の育成に努めている。	91.3	92.0
	④	保	学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。	93.9	93.5
		児	体育の時間や休み時間に、すすんで体を動かしている。	88.6	94.2
		教	学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。	100	96.0
人権を尊重する教育および 豊かな心を育成する教育	⑤	児	楽しく学校に通っている。	91.1	90.7
	⑥	保	お子さんは、すすんであいさつをしている。	76.7	74.0
		児	昨年度より、あいさつができるようになった。	90.7	92.3
		教	児童は、すすんであいさつをしている。	60.8	84.0
	⑦	保	学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上での基本的生活習慣が身に付くように指導している。	96.6	93.7
		児	昨年度より、「たがらっ子せんげん7」など学校のきまりを守ることができるようになった。	87.9	90.4
		教	学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上での基本的生活習慣が身に付くように指導している。	95.7	96.0
	⑧	保	お子さんは、いじめはいけないことだと理解し、相手の気持ちを考えて行動している。	96.0	95.8
		児	友達にやさしい言葉遣いをして、なかよくしている。	90.7	90.4
		教	児童は、いじめはいけないことだと理解し、相手の気持ちを考えて行動している。	95.6	96.0
	⑨	保	学校は、たてわり班活動や異学年間の交流行事、学習などで、児童の豊かな関係づくりに努めている。	97.0	95.4
		児	たてわり班の活動や他の学年との交流などで、いろいろな学年の子となかよくなれた。	84.9	86.9
教		学校は、たてわり班活動や異学年間の交流行事、学習などで、児童の豊かな関係づくりに努めている。	95.7	92.0	
家庭および地域社会に 開かれた学校	⑩	保	学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。	90.8	86.2
		児	学校で困ったことがあったとき、担任や専科の先生、相談室の先生に相談することができる。(困ったことがあった児童のみ回答)	73.2	72.9
		教	学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。	91.3	96.0
	⑪	保	学校は、保護者会や学校公開、学校だより、学年だよりなどのお便り、ホームページ、学校連絡メール等で、学校の活動や取組を伝えている。	97.3	97.9
		教	学校は、保護者会や学校公開、学校だより、学年だよりなどのお便り、ホームページ、学校連絡メール等で、学校の活動や取組を伝えている。	100	100

*アンケート結果の数値は、「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」「C:あまり思わない」「D:思わない」のうち、「A:そう思う」「B:だいたいそう思う」と答えた人数の割合(%)。